

生まれも育ちも京都 ニートから訪問販売、不動産会社を経て起業 京町家を再生して地域社会を活性化 ストーリーを紡いで次世代へ インバウンド需要で成長 創業3年で年商13億円に

収益用物件売買や宿泊施設の運営管理を行なう株式会社レ・コネクション（本社：京都市下京区、代表取締役：奥田 久雄）は、築100年以上経つことも多い歴史ある京町家の保全と再生を、宿泊施設に蘇らせ活用するという事業を中心におこなっています。

当社は京都で生まれ育った代表の奥田が2016年に創業し、独自の不動産への目利き力と時代のニーズに沿った事業展開で3期の売上高13億円と急成長を遂げています。

起業時より「人を結び 街を紡ぐ」をコンセプトに掲げており、この言葉は奥田の原体験に基づきます。これには従業員、投資家、ご宿泊いただくゲスト、そして地域社会、それらを紡ぐことで生まれる新しいストーリーを、次世代へと受け継いでいきたいという思いが込められています。

株式会社レ・コネクション 代表取締役 奥田久雄

<プロフィール>

1983年9月20日生（35歳）

京都府京都市出身

高校卒業後、父親が経営する飲食店で働くなどアルバイトを転々とする。定職に就かずニート生活を送っていたが、友人らの姿が刺激となり、24歳の時訪問販売会社の営業職に就く。その後不動産会社に転職。6年間勤務した後、2016年に独立して株式会社レ・コネクションを設立し、代表取締役就任。2017年2月株式会社レ・コネクション パートナース設立、代表取締役就任。



ニートから脱却 インバウンド需要の高まりがチャンスとみて起業

代表の奥田は京都で生まれ育った生粋の京都っ子です。幼少期を過ごした祖母の家は築100年以上の京町家で、代々農家を営んでいました。子どもが多く近所付き合いや繋がりが深い、町内全体が家族のような地域でした。しかし、大人になるにつれてそれまで当たり前だと思っていた町の様子が徐々に変わり始め、空き家となった古い町家が目に付くようになりました。進む高齢化の影響で子どもの姿が少なくなり、地蔵盆の規模縮小や神輿の担ぎ手の減少により、地元のお祭りからも以前のような活気は失われていきました。

郷土愛の強かった奥田はこのことに一抹の寂しさを感じ、成長するにつれて「ゆくゆくは京都の産業振興や活性化に尽力したい」と考えるようになりました。

そんな奥田でしたが高校卒業後は様々なアルバイトをしていたものの、ニートに近い生活を送っていました。しかし、共に青春時代を過ごした友人たちは大学を卒業し就職、結婚と安定した生活を送っていくようになります。取り残されていく焦燥感に駆られ「自分は何をしているのだろう」「何がしたいのか」と自問自答を繰り返す日々を2年過ごしました。そこで一念発起し24歳の時「1度サラリーマンをやってみよう」と決意。飛び込んだ先はふとんの訪問販売会社での営業職でした。1日200軒以上を訪問するなど過酷な仕事をこなすことで“営業”のノウハウを叩き込まれ成長できました。その後「売るならすべての事業を展開していく上で絶対に必要である“場所=土地”を売りたい」と考えるようになり、26歳の時に不動産会社に転職。そこで不動産ビジネスのノウハウを学ぶなか、インバウンド需要の拡大や東京オリンピック開催で国内の盛り上がる今がチャンスだと捉え、2016年に32歳で独立・起業をしました。

地元密着・地域貢献の京町家再生事業、3年で年商13億・社員50名に成長

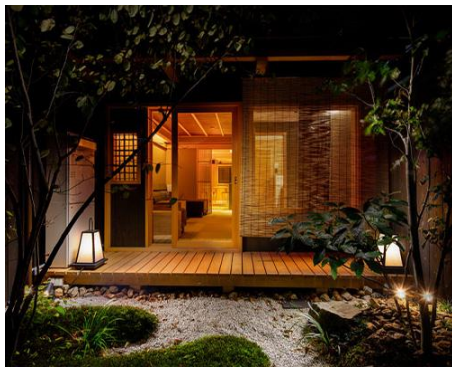
起業後すぐは事務所がなく、知り合いの会社の一角を間借りしていました。実績や信用がなく苦労した時期がありながらも、地道な努力を続け少しずつ扱う物件も増えていきました。

京都に訪日外国人が増える中、京町家を投資物件とすることに着目し、宿泊施設へと再生する京都ならではのビジネスモデルを構築。不動産の仕入から企画・提案、施工、運営管理、清掃までをワンストップでおこなうことで様々な方面からのニーズをきめ細やかに反映した宿泊施設を提供し、現在までに一日一組限定の一棟貸し宿泊施設を中心に32棟の運営実績があります。

また、繁忙期と閑散期の差が非常に大きい京都の特性を把握し、フレキシブルな価格設定やリピーター施策などの閑散期対策をおこなうことで、平均8割以上という高い稼働率を維持しています。

古き良き京都の街並みを守るという地域貢献を果たし、前期の売上高は創業時の10倍となる13億円に達し、前年比約150%と順調な成長を遂げています。

【地元密着のビジネスモデル それぞれの京町家にあった企画で差別化】



自社宿泊施設ブランド
「紡(つむぎ) ~Machiya Inn~」

自社運営宿泊施設「紡(つむぎ)」ブランドは主に京町家をリノベーションした一日一組限定の一棟貸し宿泊施設です。各々の物件に沿った企画提案を行うことでその物件の持つ魅力を最大限に引き出し、不動産価値を高めています。

丈夫な梁は残しあえて見せる工夫を施すなど京町家の趣を最大限活かしつつも、現代の機能性や快適さを追求した施設は非日常的な空間をテーマにしています。京町家を再生し活用する取り組みは、京都における課題である空き家問題のひとつの解決策であると考えております。また、京都駅前に専用レセプションがあり、チェックイン時には各施設まで送迎を行っています。日本語・英語・中国語など多言語対応可能なスタッフが24時間体制で行う迅速かつ丁寧なゲスト対応は、多くの宿泊客の高評価を得ています。

ワーキングマザーや外国人雇用など人材投資に注力

また、奥田は起業当時から従業員が働きやすい職場作りにも注力しています。不動産業界では社内体制や企業としての社会の立ち位置、働き方などの面で時代の流れに遅れているように感じます。

当社は社員個々人の生き方を尊重し、個々のライフスタイルに沿った働き方をしてもらえることを第1にしております。例えばワーキングマザーなど働く意欲がありながらも時間に制限のある人材や外国人、シルバー世代の積極的な雇用にも力を入れています。このように多岐に渡る人材が活躍できるのは、当社が不動産売買のみならず様々な事業展開をおこなっているからです。

全従業員が一丸となるために情報や目的の共有、モチベーションを高く保つための社内の雰囲気づくりをし、誇りを持って働けるような会社に育てていきます。

起業当初は奥田1人だった当社がわずか3年でここまで成長できた要因は、奥田自身がモットーとしている「時は金なり」を胸に刻み、時流を捉えスピード感を持って事業に挑戦してきたからです。

これからも「人を結び 街を紡ぐ」をコンセプトに、京都だけでなく全国展開を目指していきます。今期は宿泊施設を50棟まで拡大することを目標に、売上高150%増の20億円超えを目指します。また、来年には京都市内で宿泊施設だけでなく、飲食業の展開も視野に入れて事業成長をおこなっていきます。

日々時は流れ、それとともに街の姿も移り変わります。時代の流れに沿った整備をおこない、人の流れを生むことで街は街として息づきます。当社は受け継がれてきた京都の歴史や文化を次の世代に紡ぐ担い手になりたいと考えています。



会社概要

社名 株式会社レ・コネクション

代表者 代表取締役 奥田 久雄

所在地 〒600-8491
京都市下京区室町通綾小路上る鶏鉾町 500 番地 鶏鉾ビル 3F

電話番号 0120-14-6200
075-352-8600

FAX 番号 075-352-8700

設立年月 2016 年 4 月

事業内容 不動産流通業
不動産総合コンサルティング
新築建築・リフォーム
宿泊施設の企画・販売・運営



ホームページ <https://re-connection.co.jp/>

自社宿泊施設ブランド 「^{つむぎ}紡 ~Machiya Inn~」 <https://tsumugi-kyoto.jp/>

<報道関係者お問い合わせ先>

レ・コネクション 広報事務局

TEL : 03-5411-0066 FAX : 03-3401-7788

E-mail : pr@netamoto.co.jp

担当 : 杉村 (携帯 : 070-1389-0175)